



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5660 URL <https://www.shinko-wire.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 修二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉田 裕彦 (TEL) 06-6411-1051
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,097	4.0	845	2.9	889	△4.2	748	△1.1
2023年3月期第3四半期	23,170	9.2	821	225.8	929	156.4	757	207.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 770百万円(2.6%) 2023年3月期第3四半期 750百万円(13.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	126.69	—
2023年3月期第3四半期	128.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	42,333	22,188	52.4
2023年3月期	42,006	21,713	51.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 22,188百万円 2023年3月期 21,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	5.5	750	△20.1	750	△28.2	550	△33.9	93.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	5,912,999株	2023年3月期	5,912,999株
2024年3月期3Q	2,654株	2023年3月期	2,228株
2024年3月期3Q	5,910,537株	2023年3月期3Q	5,910,922株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当期におけるわが国経済は、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっておりますが、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、当社グループを取り巻く需要環境は、ロシアによるウクライナ侵攻等の地政学リスクの長期化、資源価格高騰の継続影響等により本格的な回復には至らず、厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループでは、原材料価格やエネルギー価格等の高騰に対する販売価格の改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めたことにより、当期における当社グループの連結業績は、売上高は24,097百万円と前年同期に比べ926百万円の増収、営業利益は845百万円（前年同期比23百万円の増益）となりました。一方で、持分法による投資損益の悪化影響等により、経常利益は889百万円（前年同期比39百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は748百万円（前年同期比8百万円の減益）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

(P C関連製品) 主力分野の橋梁において、老朽化に伴う補修・補強案件が増加する一方で、P C鋼材の使用量の多い新設案件が減少する厳しい事業環境が継続し、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

(ばね・特殊線関連製品) 主力の自動車分野において、需要は回復の兆しが見え始めましたが、第2四半期までにおける中国での日系自動車メーカーの販売不振や在庫調整等の影響に加え、プリンター分野における需要の低迷や在庫調整の継続等の影響により、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

特殊鋼線関連事業全体では、こうした販売数量の減少に対して、販売価格の改定効果の寄与等により、売上高は12,956百万円と前年同期に比べ582百万円の増収となり、営業利益は260百万円（前年同期比201百万円の増益）となりました。

<鋼索関連事業>

原材料価格やエネルギー価格、運送費等の高騰や各業界の人手不足等による影響により需要が低水準に推移したことで、販売数量は前年同期に比べ減少しましたが、一方で、高付加価値製品の販売拡大や販売価格の改定効果等が寄与したことにより、売上高は9,701百万円と前年同期に比べ254百万円の増収となりました。営業利益は、販売数量の減少や製造コストの悪化影響等により、512百万円（前年同期比206百万円の減益）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

土木・橋梁分野および建築分野における大型案件の納入等により、売上高は1,393百万円と前年同期に比べ89百万円の増収となり、営業利益は35百万円（前年同期比28百万円の増益）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ45百万円、36百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、326百万円増加の42,333百万円となりました。これは主として商品及び製品の増加によるものです。

負債は、147百万円減少の20,145百万円となりました。これは主として1年内償還予定の社債の減少、短期借入金の減少、長期借入金の増加によるものです。

純資産は、474百万円増加の22,188百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は52.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年11月8日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,392	2,797
受取手形	406	223
売掛金	4,165	3,932
電子記録債権	4,459	3,937
商品及び製品	4,925	5,457
仕掛品	3,759	3,882
原材料及び貯蔵品	2,199	2,349
その他	617	650
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,925	23,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,731	2,634
機械装置及び運搬具（純額）	4,880	4,813
工具、器具及び備品（純額）	120	109
土地	5,869	5,852
リース資産（純額）	3	2
建設仮勘定	408	394
有形固定資産合計	14,014	13,807
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,799	1,930
繰延税金資産	924	894
退職給付に係る資産	1,956	2,020
その他	247	219
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	4,902	5,039
固定資産合計	19,081	19,104
資産合計	42,006	42,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162	2,662
短期借入金	5,371	4,821
リース債務	2	1
1年内償還予定の社債	900	-
未払費用	988	986
未払法人税等	237	75
契約負債	67	68
賞与引当金	613	238
その他	495	740
流動負債合計	11,837	9,594
固定負債		
長期借入金	3,891	5,775
リース債務	2	1
役員退職慰労引当金	6	8
環境対策引当金	29	24
退職給付に係る負債	4,408	4,621
その他	118	119
固定負債合計	8,455	10,551
負債合計	20,293	20,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,164	8,164
利益剰余金	4,120	4,573
自己株式	△2	△3
株主資本合計	20,345	20,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289	379
為替換算調整勘定	219	240
退職給付に係る調整累計額	859	769
その他の包括利益累計額合計	1,368	1,389
純資産合計	21,713	22,188
負債純資産合計	42,006	42,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	23,170	24,097
売上原価	18,987	19,852
売上総利益	4,182	4,244
販売費及び一般管理費	3,361	3,399
営業利益	821	845
営業外収益		
受取利息	42	45
受取配当金	41	59
持分法による投資利益	82	-
固定資産賃貸料	32	32
固定資産売却益	2	30
その他	46	48
営業外収益合計	249	215
営業外費用		
支払利息	39	47
社債利息	0	0
持分法による投資損失	-	37
出向者負担金	36	41
固定資産廃棄損	23	15
その他	41	29
営業外費用合計	141	171
経常利益	929	889
特別利益		
投資有価証券売却益	123	-
特別利益合計	123	-
税金等調整前四半期純利益	1,053	889
法人税、住民税及び事業税	195	134
法人税等調整額	100	6
法人税等合計	296	141
四半期純利益	757	748
親会社株主に帰属する四半期純利益	757	748

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	757	748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	90
為替換算調整勘定	19	11
退職給付に係る調整額	△88	△90
持分法適用会社に対する持分相当額	32	10
その他の包括利益合計	△6	21
四半期包括利益	750	770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	750	770

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,373	9,447	1,304	23,125	44	23,170	—	23,170
セグメント間の内部売上高 又は振替高	392	208	1	603	—	603	△603	—
計	12,766	9,655	1,306	23,728	44	23,773	△603	23,170
セグメント利益	59	719	6	785	35	821	—	821

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,956	9,701	1,393	24,051	45	24,097	—	24,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	372	133	1	507	—	507	△507	—
計	13,328	9,835	1,394	24,558	45	24,604	△507	24,097
セグメント利益	260	512	35	808	36	845	—	845

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。